

新型コロナウイルスコロナ感染拡大防止集中対策（6/21～7/11）（令和3年6月17日）

スライド 1

○ 本日は、本県への緊急事態宣言が6月20日をもって解除されることを受け、6月21日以降の集中対策についてご説明します。

スライド 2

- まず、感染状況ですが、こちらは分科会参考指標です。
- 様々な指標が改善傾向を維持しています。直近1週間の人口10万あたりの新規報告者は、県全体で7.2、広島市で12.2となっており、広島市においてもステージⅢの目安である15を下回っています。

スライド 3

- これまでの推移予測と結果です。
- 5月中旬までの感染拡大期には、新規感染者の増加を、前週と比較して1.8倍で予測し、結果は平均1.7倍で増加しました。感染のピークについては、県民の皆様の対策の効果により、予測よりも低い値に抑えることができました。ありがとうございます。一方、感染が減少傾向に転じる際には、減少比率0.8で減少すると予測していました。
- 当初の予測よりも早い速度で減少していますが、直近は、前週比0.7であり、減少スピードが鈍化してきています。

スライド 4

- こちらは市町別の感染状況です。
- 人口規模が10万人を超える市町の中で、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が、県独自警戒基準値である4を上回っているのは、広島市、東広島市、廿日市市の3市となっています。

スライド 5

○ 直近2週間の新規感染者の内訳を確認すると、県全体に占める割合が、広島市、東広島市、廿日市市の順に高くなっています。特に、広島市は県全体の約7割を占めています。

スライド 6

○ 最近の感染状況は、5月上旬と比較して非常に低い印象を受けると思います。○ しかし、広島市の直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数は1月中旬と同程度であり、高い水準です。しっかりと減少させていくことが非常に重要となります。

スライド 7

- 直近の減少スピードが鈍化してきたため、保守的に見積もって、県全体の今後の推移について、前週比0.8を基本とし、PCR戦略などを加味して、想定しています。
- 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が県の独自警戒基準値である4.0を下回るのは、6月下旬と予測しています。
- 一方、県全体の新規感染者の多くを占める広島市について、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が県の独自警戒基準値である4.0を下回るのは、7月上旬と予測しています。

スライド 8

- 昨年秋以降の広島県での感染拡大の際には、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が県独自警戒基準値である4.0を安定的に下回るまで集中対策を実施しました。具体的は、対策終了日である2月21日は、県全体で1.8、広島市で1.3となっています。その結果として、リバウンドを避けることができたと考えています。リバウンドを避けることで、再度の行動制限が避けられ、長期的にみれば行動制限の期間も短くなります。
- そのため、対策の継続が重要ですが、一方で、感染を抑え込むための行動制限を長期化させることも避けたいと考えています。

スライド 9

- 専門家の意見や感染状況から、全県でステージⅢとします。
- 感染を徹底的に抑え込み、全県で安定的に警戒基準値を下回る水準を目指し、集中対策を実施します。期間は6月21日から7月11日までです。

スライド 10

- 集中対策期間中の対策と考え方ですが、引き続き、これまでどおり、全県で外出半減を徹底し、人との接触を8割減とします。

スライド 11

- 広島市、東広島市、廿日市市については、他地域と比較して十分な改善が見られないため、特に人出を抑える対策が必要です。また、これまで「飲食」をキーワードにした感染が多く出ており、リスクが高い感染経路といえます。こうした状況から、3市のお酒を提供する飲食店へ時短営業を要請します。

スライド 12

- 要請の内容は、5時から20時までの営業時間短縮と、そのうち、お酒の提供時間は19

時までとします。金額や要件はご覧の通りです。また、飲食を主としている店舗において、カラオケ設備の提供は自粛することを要請します。

○ また、飲食店の要請変更に伴い、広島市、東広島市、廿日市市以外の飲食事業者は協力支援金の対象外となりますが、7月以降、県内の時短要請が継続している場合には月次支援金の対象となります。

スライド 13

○ 続いて、人が集まる施設への使用制限ですが、広島市、東広島市、廿日市市の施設に20時までの営業時間短縮を働きかけます。

スライド 14

○ 続いて、イベント等についてです。6月21日からは、ご覧の内容を要件とします。

- ・ 21時までの時短営業の働きかけ
- ・ 人数上限が、市町によって異なること
- ・ 大声が想定されないイベントの収容率を100%に引き上げることが今回の主な要件です。

スライド 15

○ 改めてになりますが、今回の集中対策で感染を徹底的に抑え込み、早く行動制限を解除したいと考えています。

○ そのための戦略は2つです。

○ まずは人との接触の8割削減の継続です。接触機会を減らすことで、警戒基準値を安定的に下回ると見込まれる水準を目指し感染を減少させます。

○ 2つめは、検査強化による感染連鎖の早期遮断です。保健所検査に加えて幅広く検査を行う事業所PCRや、陽性率の高い広島駅や流川などの臨時スポットでの検査によって、早く陽性者を発見して、その先の拡がりを防ぐことで、感染の減少スピードを加速させます。

スライド 16

○ こうしたなか、全県民の皆様には接触機会の削減のため、引き続き、お一人お一人の外出を半減してください。自粛疲れもあるかもしれませんが、なぜ全県で、と思うかもしれませんが、まだ現時点の感染状況では十分に抑え込んでいるとは言えない水準です。全員でもうひと頑張りが必要です。

スライド 17

- 具体的には、ご覧の通りです。通院、通勤、通学は除いて週末平日に関わらず外出を半分にしてください。
- 広島市、東広島市、廿日市市の方は、20時以降は外出しないでください。

スライド 18

- 続いて移動についてです。
- 県をまたぐ移動は最大限自粛してください。特に、まん延防止等重点措置地域との往来はしないでください。5月は「県外往来」も感染拡大の起点となりました。今はどうか、控えるようにしてください。
- さらに、県内移動について広島市、東広島市、廿日市市との往来は感染防止対策を徹底してください。
- また、同居家族以外との食事は飲食店や家などの場所に関わらず、やめてください。なお、3市においては飲食を主とするお店でのカラオケ利用はやめてください。

スライド 19

- 鼻づまりや喉の痛みなど、普段なら病院に行こうと思わないような軽い症状でも違和感を感じたらすぐ、医療機関を受診してください。
- 無症状でも気になる場合は迷わず検査をお願いします。県内6カ所のPCRセンターに加え、広島駅、流川などの臨時スポットも開設しています。感染経路の早期遮断が、減少スピードを加速させますので積極的に検査を受けてください。

スライド 20

- 事業所には、ご覧のことを要請します。特に、事業所PCRの対象となった際は、幅広い検査へ協力してください。早期に陽性者を見つけることで、結果的に周りへの拡がりも最小限で抑えられると考えています。従業員を守るためにも積極的に協力をお願いします。
- 出勤者7割減も継続して要請します。
- 3市の事業所は、20時以降の勤務の抑制をお願いします。

スライド 21

- 繰り返しになりますが、早く行動制限を解除するためには 感染を徹底的に抑え込む必要があります。そして、安定的に低い水準をキープすることで この先のリバウンドによる再拡大を防止して早く日常生活を取り戻したいと考えています。
- そのために、全員が今、出来ることは外出の半減です。県民一丸、力を合わせて 今しばらく共に頑張りましょう。

スライド 22

○ 最後に、安定的に日常生活を取り戻すため、大きなカギとなるワクチン接種についてです。ワクチン接種の早期完了に向けて、刻々と変化する状況に柔軟に対応できる体制を整えました。

○ 引き続き市町と連携しながら、大規模接種会場の運営や 職域接種のための相談対応などを行っていきます。1日でも早く一人でも多くの方が接種を受けられるよう、全庁一体となって、 全力で新型コロナ対策に取り組んでまいります。